



さくらぎファミリー歯科

2021年7月に開院。一般歯科や小児歯科に加え、矯正歯科、インプラント治療、審美歯科に至るまで幅広い診療を行っており、子どもから高齢者までさまざまな世代に対応できる。予防にも力を尽くし、小児のフッ素塗布や不正咬合の改善、大人の歯周病予防などにも取り組んでいる。院内には歯科用CTをはじめ、口腔内3Dスキャナー、マイクロスコープ、電動麻酔機、口腔外バキュームなど医療機器が充実。

京都市山科区西野山中臣町 41-1
☎ 075-582-5030

卷之三



先生からのアドバイス

銀歯にしてもセラミックの補綴物にしても、誰と治療していくかという信頼関係が重要です。前歯など形にこだわる際には、事前に造形を見ることができるものもデジタルでの製作ができるセラミックの強み。当院では患者さんと一緒に物作りをするという姿勢で取り組んでいますので、まずは一度ご相談ください。そして治療はゴールではなく過程ということを意識しましょう。

費用や治療期間についても
気になるところです。

また精度が高く歯との適合面で優れているといえます。治療期間は従来の銀歯の治療と大差ありませんが、治療する歯の位置や本数など、場合により仮歯でしっかりと噛み合わせなどを調整し、適合した仮歯をスキャンして最終的な補綴物を製作します。

Q 金属素材との大きな違いは
どこにあるのでしょうか？

第一に、歯の色に合わせられるという見た
目の美しさがあります。メタルフリーの素材
ですから、金属アレルギーの方でも安心して
治療を受けられることは大きなメリットでは
ないでしょうか。銀歯と違いデジタル下で製
作するため、事前に画面で形状を確認でき、

Q セラミック治療とは
どんな治療なのでしょうか?

A portrait of Dr. Yuki Yamamoto, a young woman with short dark hair, smiling at the camera. She is wearing blue medical scrubs. The background is a plain, light-colored wall.

さくらぎファミリー歯科
櫻木 慎也 院長

審美性に優れ治療した歯の長期間維持がめざせる

セラミック治療

虫歯などで歯を削り、かぶせ物をする補綴治療。現在ではセラミック素材が一般的になってきました。白い素材のため治療痕が目立ちにくく、歯とかぶせ物の隙間や段差からの二次感染が起きづらいのが特徴です。今回はオーダーメイドの治療が可能で再治療も起こりにくいというセラミックでの治療に注力する専門家に、詳しく話を聞きました。

気になる現場を
取材しました！

療計画の説明後 院内ケアから開始

や疲れがあり応急処置が必要な場合歯周病などの問題がある場合は、そち治療が優先される。セラミックと保険の金属の違いなどの説明を聞き、素材定。治療計画の詳しい説明を経て、補瘡開始となる。



START

A dental professional in a maroon uniform is assisting a patient with a dental headgear. The patient is wearing a dental bib and the headgear, which consists of a black cylindrical frame with metal wires extending from the top and sides. The dental professional is holding the headgear to ensure it fits correctly. The background shows a dental office setting.

まずは問診と検査で
口腔内の状況を確認

初診時には問診に答えた上で、エックス線写真や口腔内写真を撮ってもらい、虫歯や歯周病の検査を受ける。その後、歯科医師や歯科衛生士とともに治療のゴールを相談していく。

検査＆治療にまつわる
Q & A